

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市学校給食協会
-----	-------------------

所管課	教育委員会 学校保健課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>①学校給食の食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行うことで、天候や社会状況の影響をより軽減し、食材を安定的に供給する。</p> <p>②学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方にに基づき、まずは市内産、市内産でも確保しにくい場合は県内産、そして九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後も、市立小中学校・特別支援学校に、安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進めるなど、食育の推進を図る。</p> <p>また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っていくことにより、さらなる経費削減に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に目指す状態	食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。 また、学校給食で使用する食材については、市内産、県内産、九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
重大事故による給食の提供中止	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
地場産物の使用割合（品目比ベース）	44.0%	前年比増	41.5%	H25年度比増	前年比増	前年比増	前年比増
地場産物の使用割合（重量比ベース）	14.0%	前年比増	18.6%	前年比増	前年比増	前年比増	前年比増

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）			
団体における評価	地場産物の使用割合（品目比ベース）が、目標と比べて、2.5%の減となったが、重大事故による給食中止件数は0件であり、地場産物の使用割合（重量比ベース）は4.6%増加しており、全体的に見てミッションは達成されたものと考えている。	市の評価	成果指標に掲げる「重大事故による給食の提供中止0件」の目標が達成できた点は、安全で安心な食材料の提供を最重要項目に掲げる学校給食において高く評価できる。 一方、「地場産物の使用割合（品目比ベース）」については目標に達していないことから、関係機関との連携を強め、市内産農産物の使用拡大に努める必要がある。
	今後の課題及び見直し内容 地場産物の使用割合（品目比ベース）を増加させるために、年11回開催される学校給食用物資地産地消推進協議会において地場産物を学校給食用に提供できるよう協力を依頼していく。		団体への改善指導内容 教育委員会、産業経済局（農業所管部局）及び市場関係者等からなる「学校給食用物資地産地消推進協議会」において、生産サイドとより密な情報共有を行うよう指導していく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、青果物生産者と児童等による収穫体験及び給食交流会の開催等を通じて地産地消の取組みを進め、食育の推進を図っている。 また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っている。また、可能な限り、経費削減にも努めている。	